

「量の見込み」(案) 検討集

	対象事業	対象年齢
1	1号認定：満3歳以上の教育標準時間認定)	3～5歳
2	2号認定：満3歳以上の保育標準・短時間認定	3～5歳
3	3号認定：満3歳未満児の保育標準・短時間認定	0歳、1・2歳
4	時間外保育事業	0～5歳
5	放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）	1～3年生 4～6年生
6	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト）	0～18歳
7	地域子育て支援拠点事業	0～2歳
8	一時預かり事業（幼稚園型） 一時預かり事業（その他）	3～5歳 0～5歳
9	病児保育事業	0～5歳 1～3年生
10	子育て支援活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	0～5歳、1～3年生、 4～6年生
11	利用者支援事業	0～5歳 1～6年生
12	乳幼児家庭訪問事業	
13	妊婦健康診査	
14	養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業（要保護児童等の支援に資する事業）	
15	実費徴収に係る補足給付を行う事業	
16	多様な事業者の参入促進・能力活用事業 （認定こども園特別支援教育・保育経費）	
17	子育て世帯訪問支援事業【新規】	
18	妊婦等包括相談支援事業【新規】	
19	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）【新規】	
20	産後ケア事業【新規】	

- 1 1号認定：満3歳以上の教育標準時間認定
- 2 2号認定：満3歳以上の保育標準・短時間認定
- 3 3号認定：満3歳未満児の保育標準・短時間認定

(1) 1号認定：満3歳以上の教育標準時間認定

単位：人

	現 状	推 計				
	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	222	83	80	74	72	68

(2) 2号認定：満3歳以上の保育標準・短時間認定

単位：人

	現 状	推 計				
	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	1,122	1,122	1,078	990	963	915
幼稚園		303	291	268	260	247
認定こども園及び保育 所		819	787	722	703	668

(3) 3号認定：満3歳未満児の保育標準・短時間認定

単位：人

	現 状	推 計				
	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (ニーズ調査)	773	859	817	823	805	788
3号認定(0歳)	139	272	266	261	255	249
3号認定(1歳)	634	271	289	283	278	271
3号認定(2歳)		316	262	279	272	268

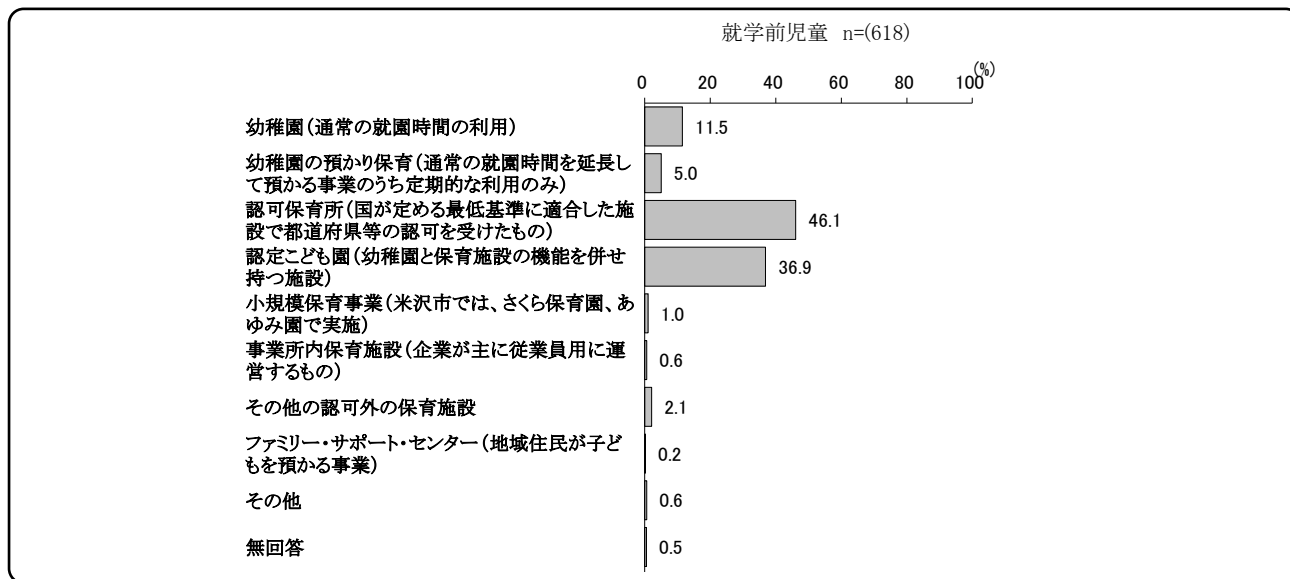
	現 状	推 計				
	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	773	734	695	704	688	674
3号認定(0歳)	139	147	144	142	138	135
3号認定(1歳)	634	271	289	283	278	271
3号認定(2歳)		316	262	279	272	268

ニーズ調査による量の見込みは、0歳児について実績と乖離しています。現状の利用希望者数を実数として、利用意向率を算出し、各年の推計人口に乗じて量の見込みを算定しています。

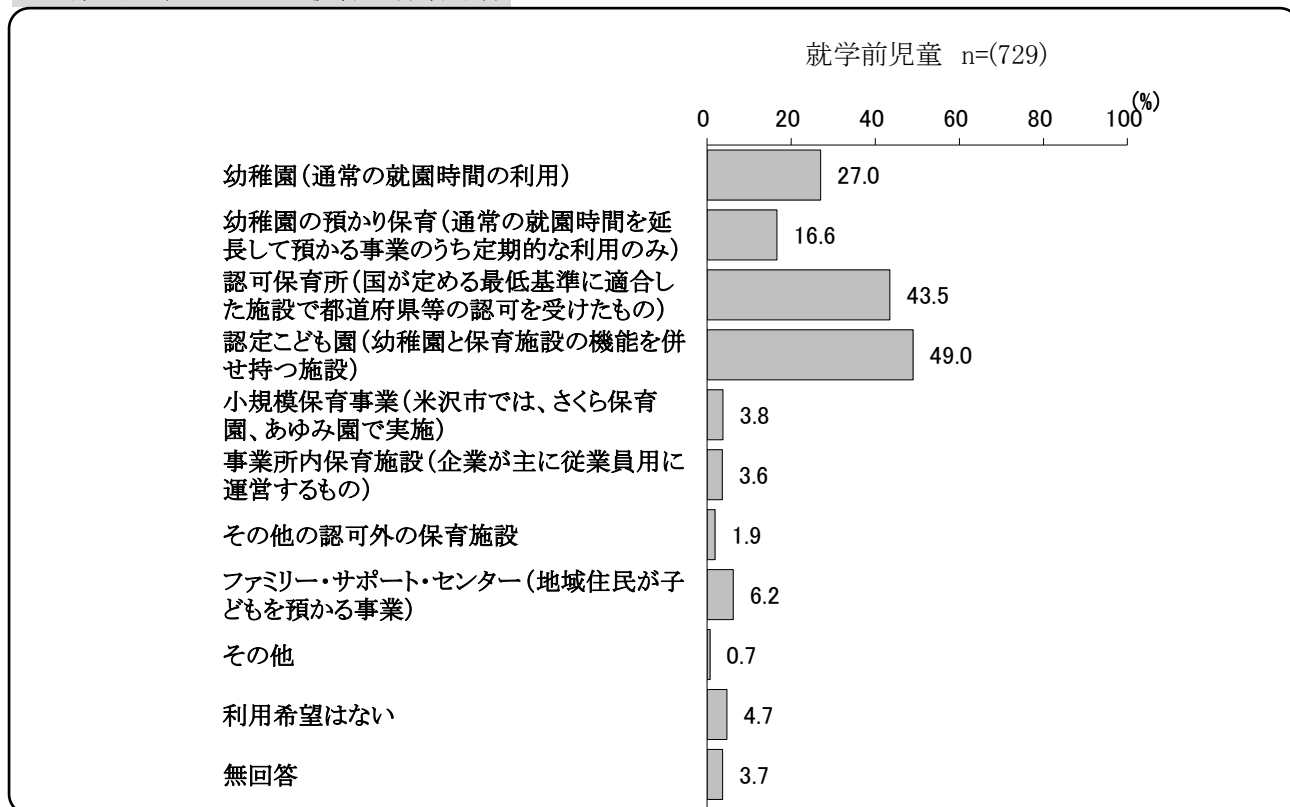
ニーズ調査参照

平日日中の定期的な教育・保育事業の利用状況について

■利用している教育・保育事業



■定期的に利用したい教育・保育事業



4 時間外保育事業（延長保育事業）

【事業概要】

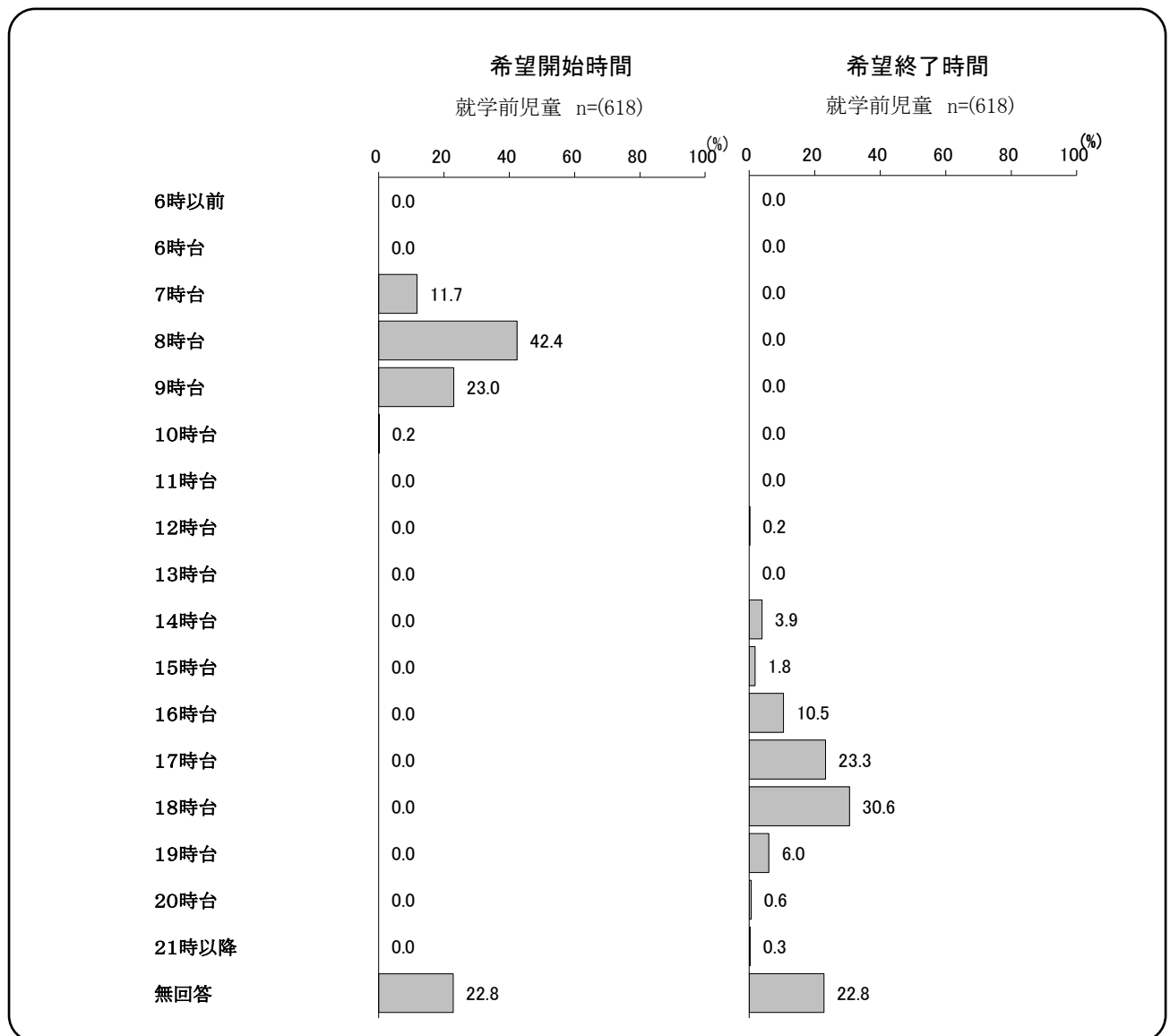
保育認定を受けた子どもについて、通常利用時間以外の時間において、認定こども園、保育所等で保育を実施する事業です。

単位：人

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (ニーズ調査)	804	128	122	117	114	110

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	804	751	718	689	672	648

量の見込みは、令和5年度の保育認定を受けた子どもの年間利用率を算出し、各年の推計人口に乗じて算定しています。



5 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

【事業概要】

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

単位：人

	現状	推 計				
	R 5 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
①利用者推計総数 （ニーズ調査）	1, 290	1, 700	1, 628	1, 557	1, 476	1, 436
低学年	816	971	961	896	844	810
高学年	474	729	667	661	632	626

ニーズ調査による推計総数は在籍児童数であるため、下記参考に基づく登録児童数へ補正します。補正割合は令和 5 年度の実績値を用いて算出しました。

	現状	推 計				
	R 5 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
①利用者推計総数 （ニーズ調査_補正後）	1, 290	1, 350	1, 293	1, 237	1, 172	1, 140
低学年	816	771	763	712	670	643
高学年	474	579	530	525	502	497

	現状	推 計				
	R 5 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
①利用者推計総数 （量の見込み）	1, 290	1, 335	1, 360	1, 366	1, 360	1, 385
低学年	816	855	890	870	857	858
高学年	474	481	471	496	503	527

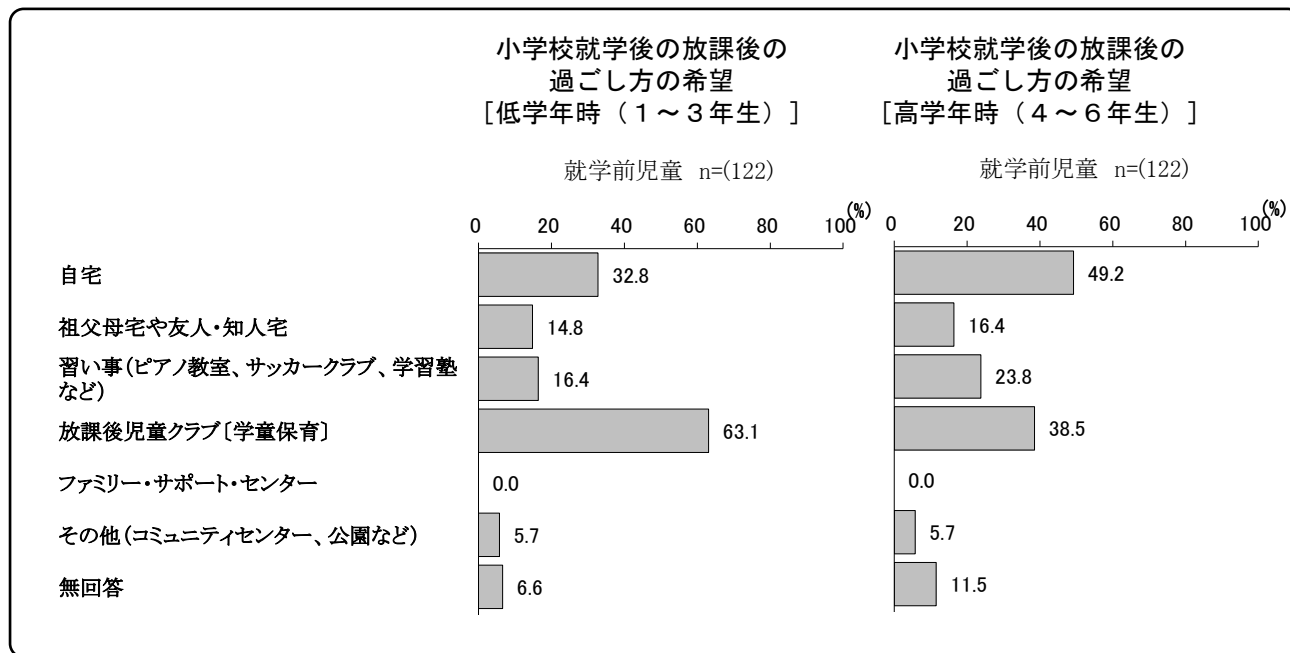
登録児童割合が年々増加傾向にあることから、令和 2 年度から令和 6 年度までの登録増加率を基に利用意向率を算出し、各年の推計人口に乗じて量の見込みを算定しています。

参考 《児童数》について

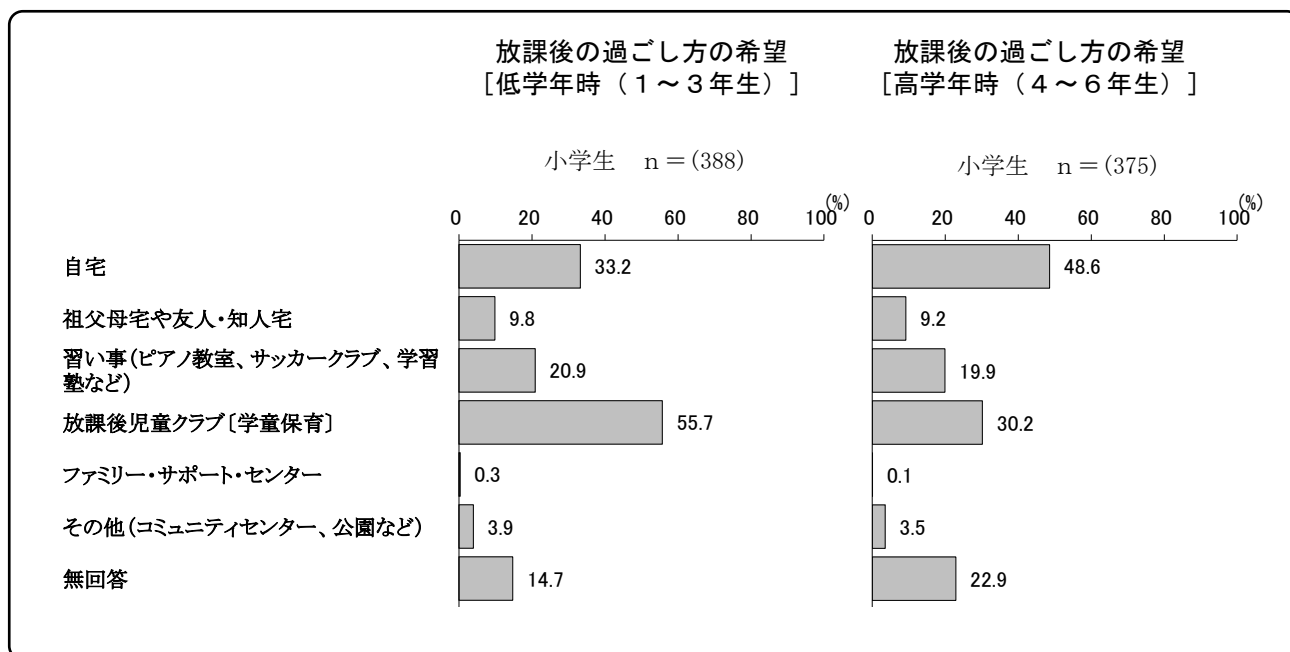
平成 26 年 5 月 30 日付 雇児発 0530 第 1 号「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準について」において、「児童の数」が明文化され、下記の取り扱いとなります。

『「児童の数」とは、放課後児童健全育成事業が毎日利用する児童（継続して使用することを前提に申し込みをした児童）の人数に一時的に利用する児童（塾や習い事、保護者のパート就労により週のうち数日を利用することを前提に申し込みをした児童）の平均利用人数を加えた数をいうものである。』上記の「登録児童数」については、この考え方に基づいた数となります。

■就学前児童の小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方の希望



■小学生の今後の放課後の過ごし方の希望



6 子育て短期支援事業（ショートステイ事業・トワイライト事業）

【事業概要】

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活支援事業（ショートステイ事業）及び夜間養護等事業（トワイライト事業））です。

① ショートステイ事業

単位：人日

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 （ニーズ調査）	18	2,103	2,009	1,930	1,881	1,814

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 （量の見込み）	18	40	40	40	40	40

令和2年度から令和5年度までの実提供総数（延児童数）の平均を量の見込みとします。

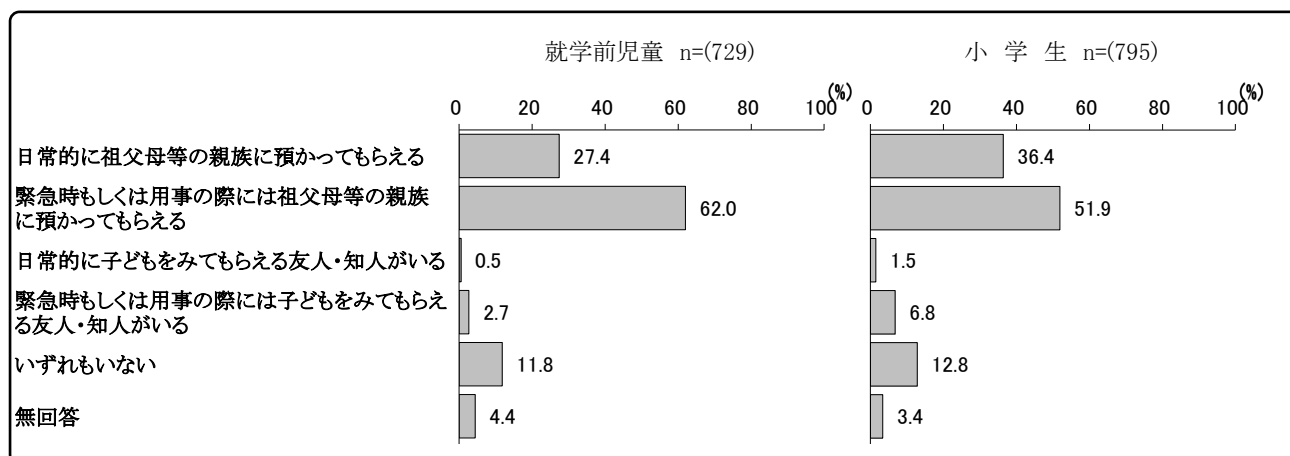
② トワイライト事業

単位：人日

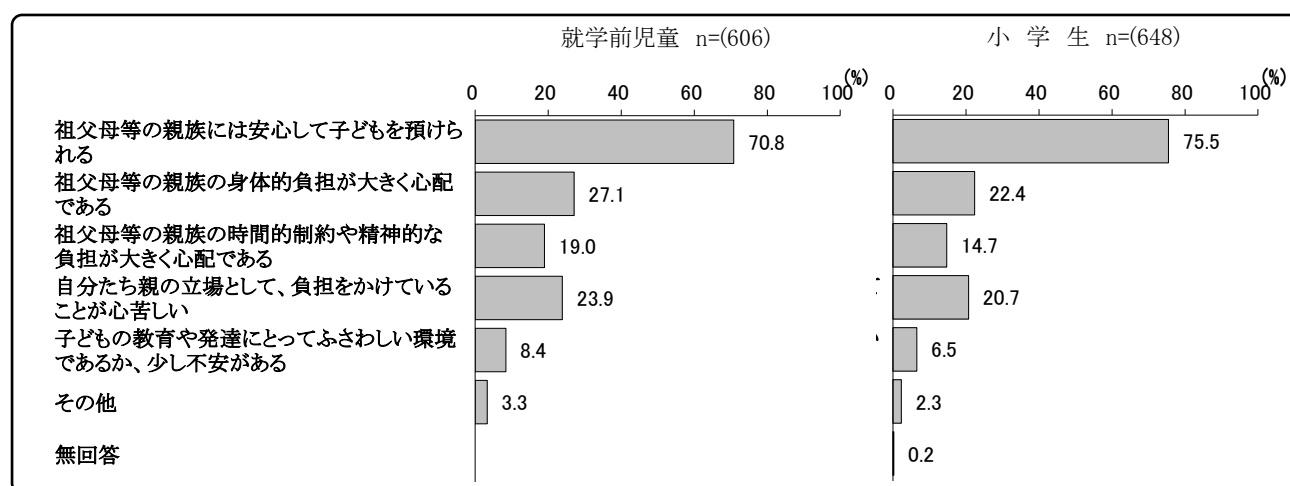
	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 （量の見込み）	0	0	0	0	0	0

ニーズ調査参照

■子どもを預かってもらえる親族・知人の有無について〔※複数回答〕

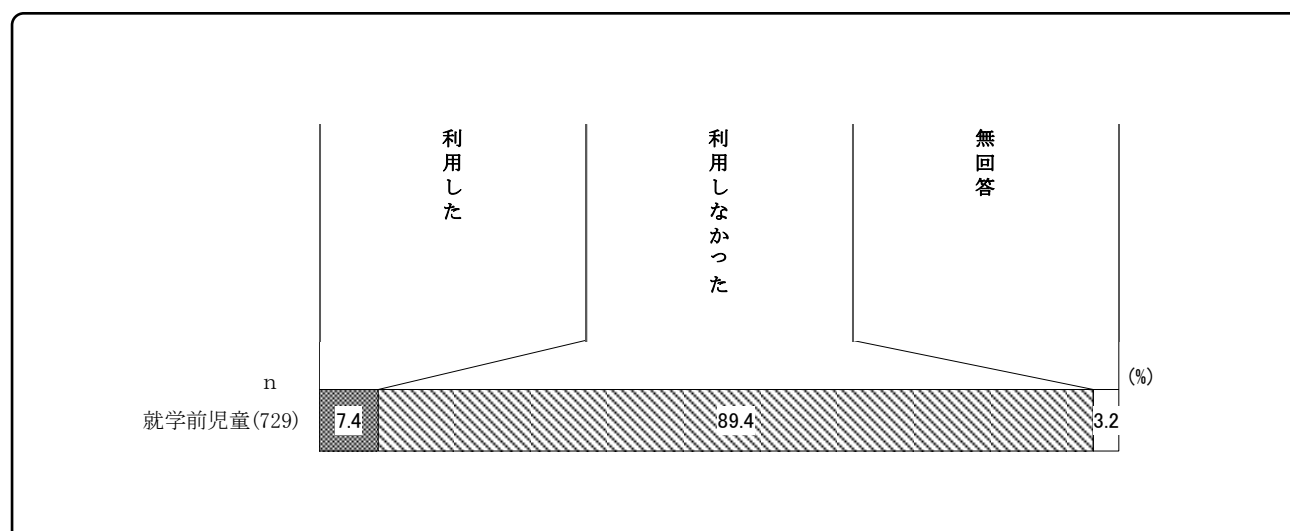


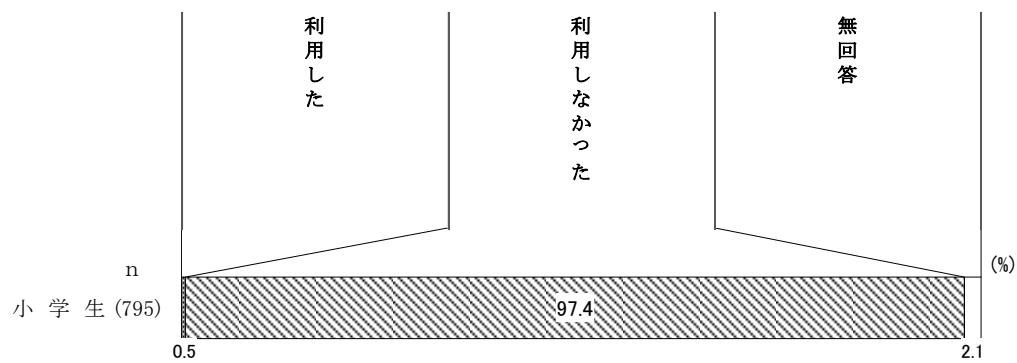
■日常的に子どもをみてもらえる親族がいる場合〔※複数回答〕



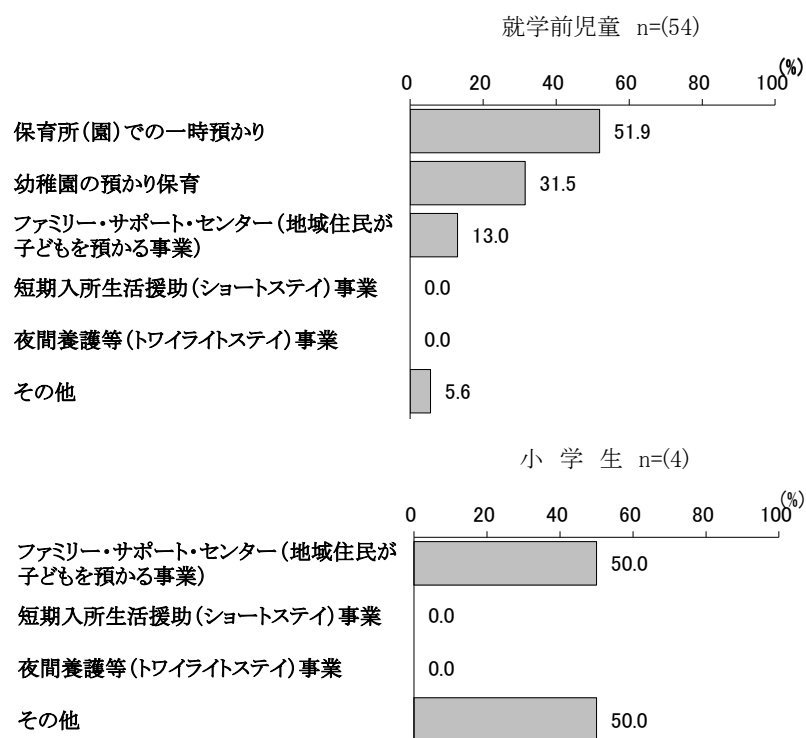
■不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等利用有無について





(2) 不定期に利用した事業について〔※複数回答〕



7 地域子育て支援拠点事業

【事業概要】

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

単位：人回

	現状	推 計				
	R 5 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
①利用者推計総数 (ニーズ調査)	13,493	1,685	1,600	1,614	1,577	1,543

	現状	推 計				
	R 5 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	13,493	11,887	11,358	10,907	10,633	10,251

量の見込みは、令和5年度の実績から利用意向率を算出し、各年の推計人口に乗じて算定しています。

8 一時預かり事業

【事業概要】

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園（在園児対象）、保育所その他の場所で一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

① 幼稚園型

単位：人日

	現状	推 計				
	R 5 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
①利用者推計総数 （ニーズ調査）	15,055	78,508	75,397	69,236	67,345	63,990
1号認定	678	149	143	132	128	122
新2号認定	14,377	78,359	75,254	69,104	67,217	63,868

《幼稚園における在園児を対象にした一時預かり》 1号認定

単位：人日

量の見込み	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	599	575	528	514	488

《新2号認定による定期的な利用》

単位：人日

量の見込み	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	11,577	11,059	10,195	9,849	9,330

量の見込みは実績により利用意向率を算出し、各年の推計人口に乗じて算定しています。

②その他の一時預かり（認可保育所）

単位：人日

	現状	推 計				
	R 5 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
①利用者推計総数 （ニーズ調査）	490	7,971	7,615	7,318	7,134	6,879

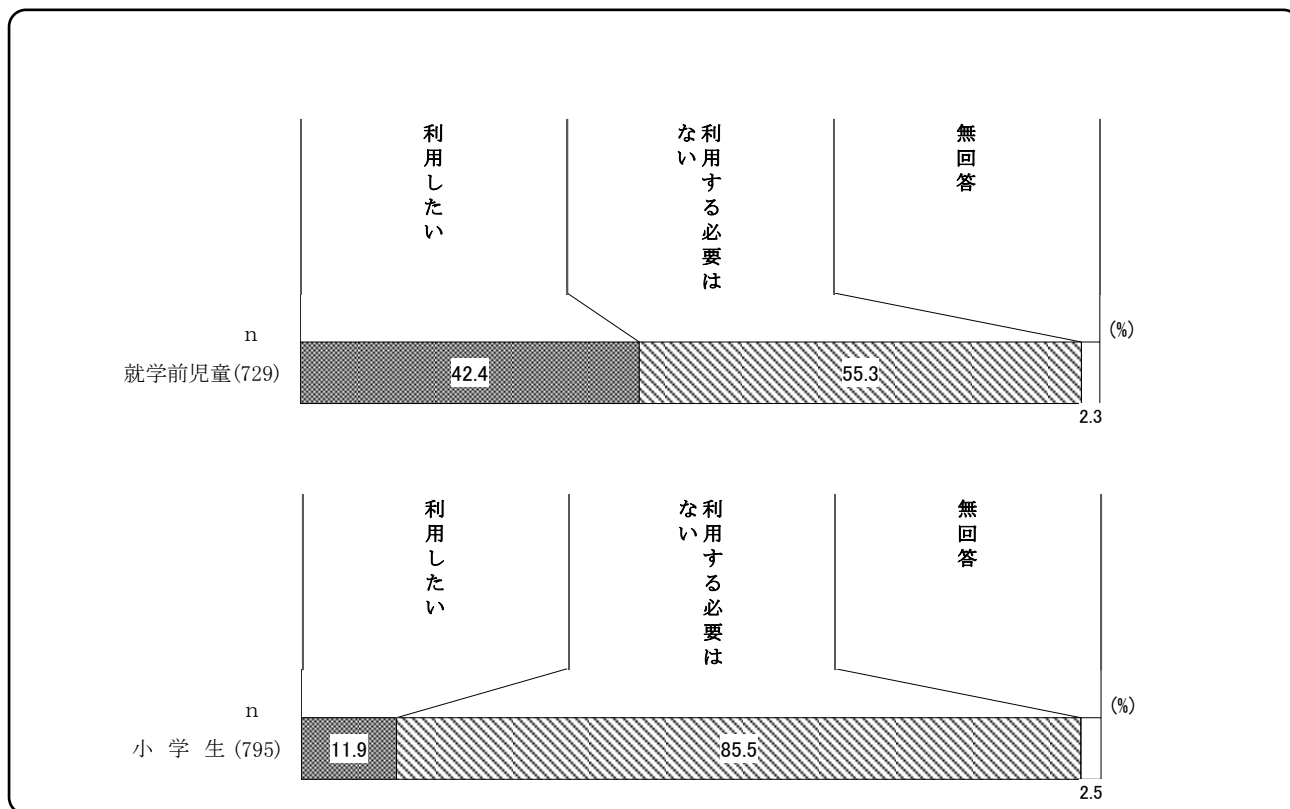
単位：人日

量の見込み	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	435	416	399	389	375

量の見込みは実績により利用意向率を算出し、各年の推計人口に乗じて算定しています。

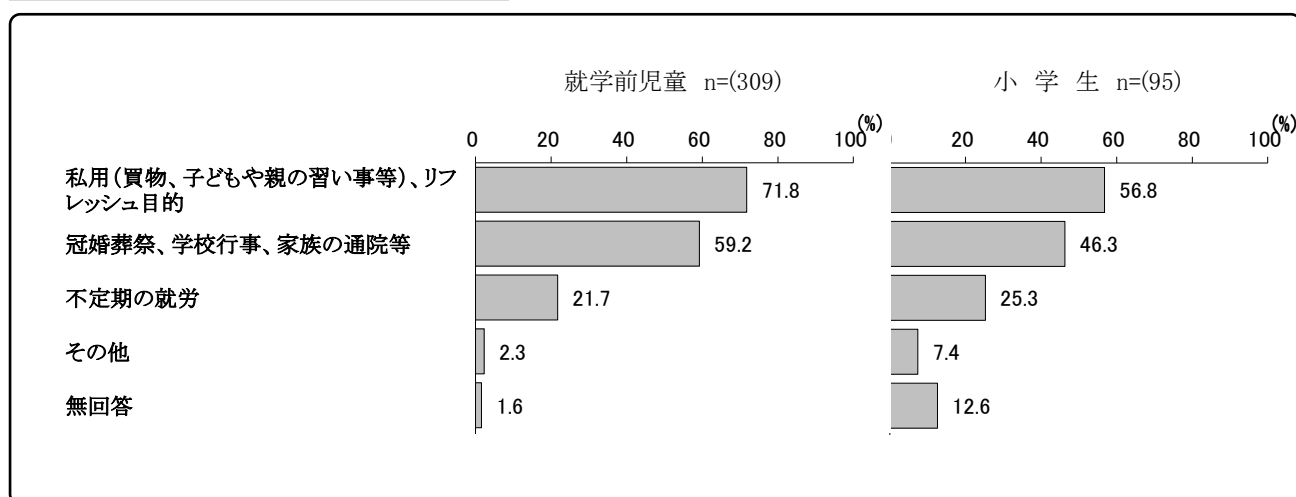
ニーズ調査参照

定期的な保育や病気以外の不定期利用希望の有無



不定期に利用したい場合の希望する利用目的

■利用したい場合の希望する利用目的〔※複数回答〕



9 病児保育事業

【事業概要】

病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業です。

なお、体調不良児対応型は、実施保育所に入所している児童を対象に、児童が保育中に微熱を出すなど体調が不良となった場合に、保護者が迎えに来るまでの間、医務室等で看護師が保健的な対応を行うものです。

単位：人日

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (ニーズ調査)	3,020	6,909	6,602	6,340	6,180	5,958

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	3,020	2,683	2,563	2,462	2,400	2,314
②内訳						
病児対応型	267	237	226	217	212	204
体調不良児対応型	2,750	2,443	2,334	2,242	2,185	2,107
ファミ・サボ病児対応	3	3	3	3	3	3

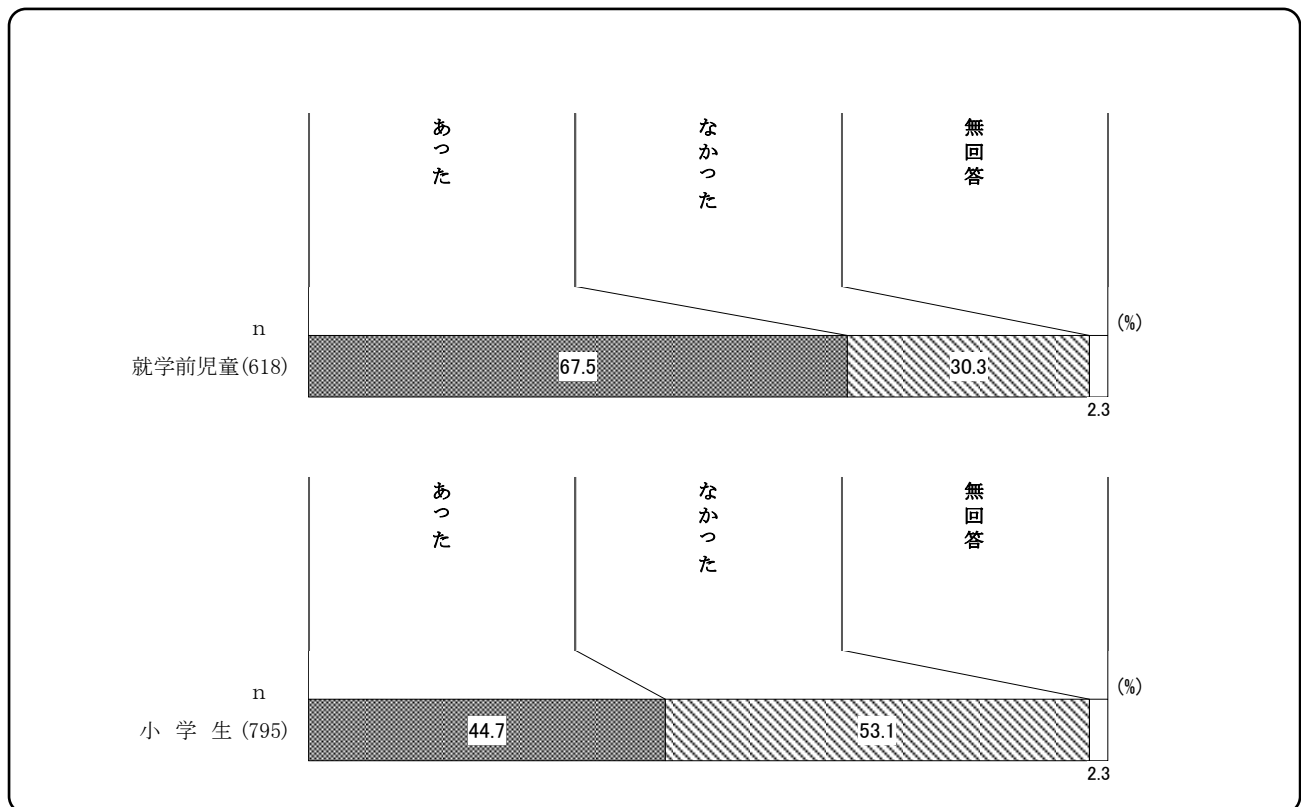
量の見込みは令和5年度実績を基に利用意向率を算出し、各年の推計人口に乗じて算定しています。

ニーズ調査参照

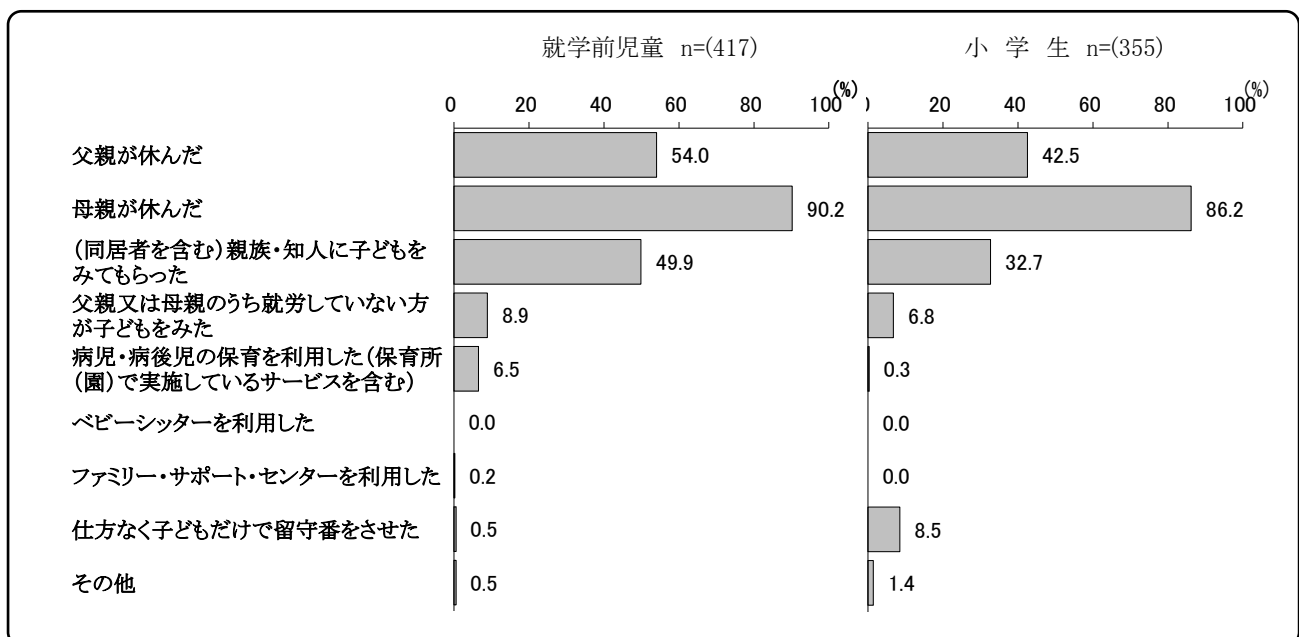
病気の際の対応について

〔未就学児で平日日中の教育・保育事業を利用している方及び就学児が回答〕

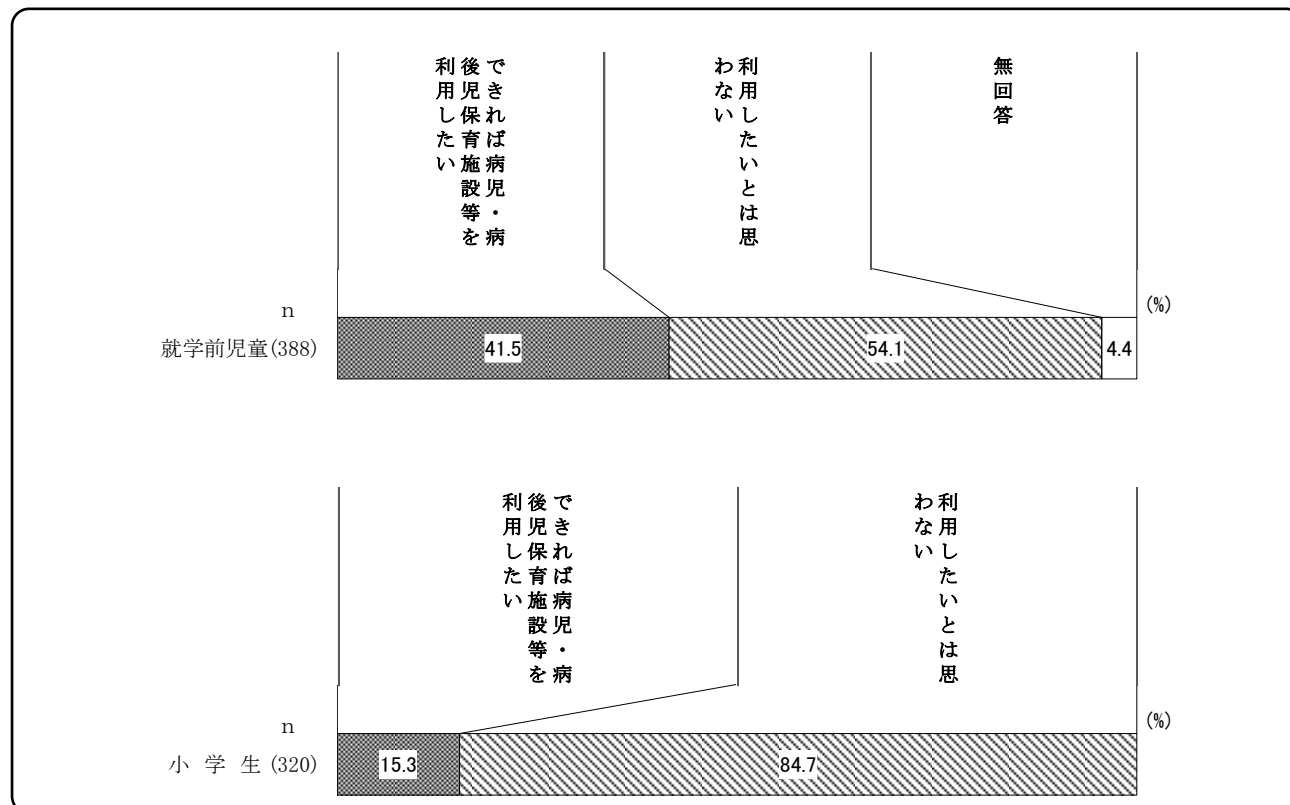
(1) 病気やけがによる特別対応の有無



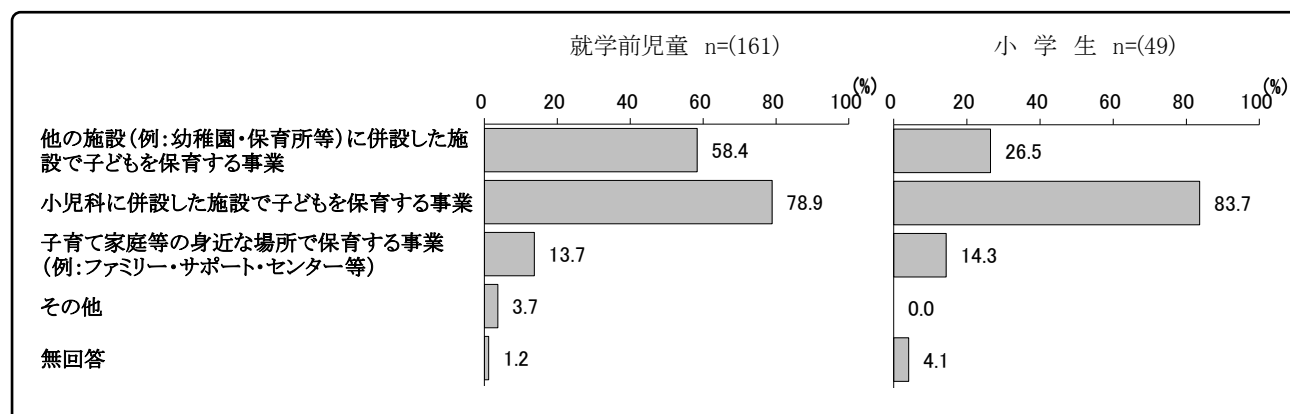
対処方法〔※複数回答〕



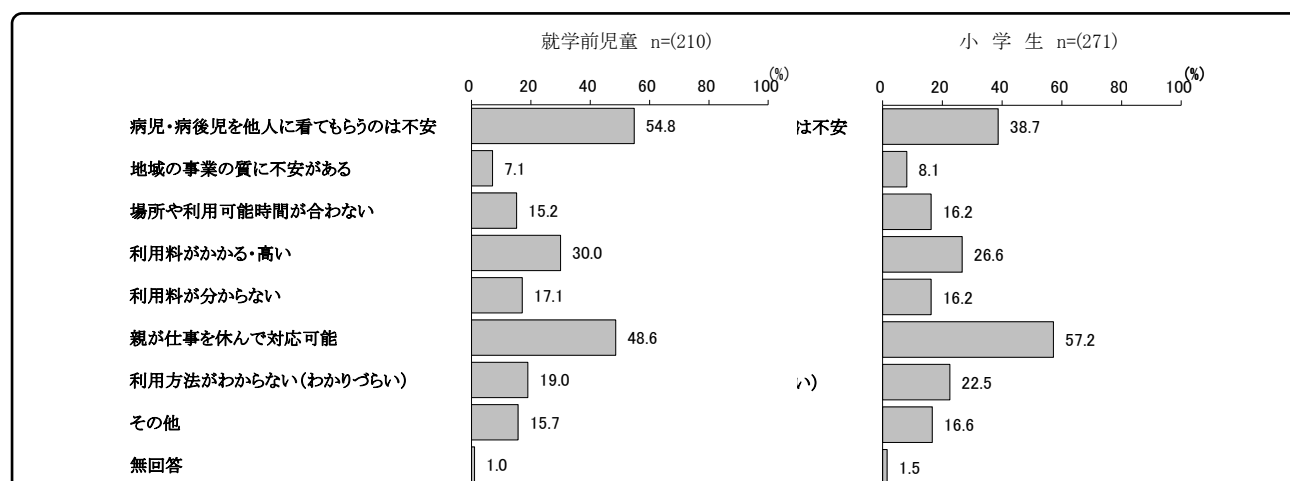
病児・病後保育事業の利用希望



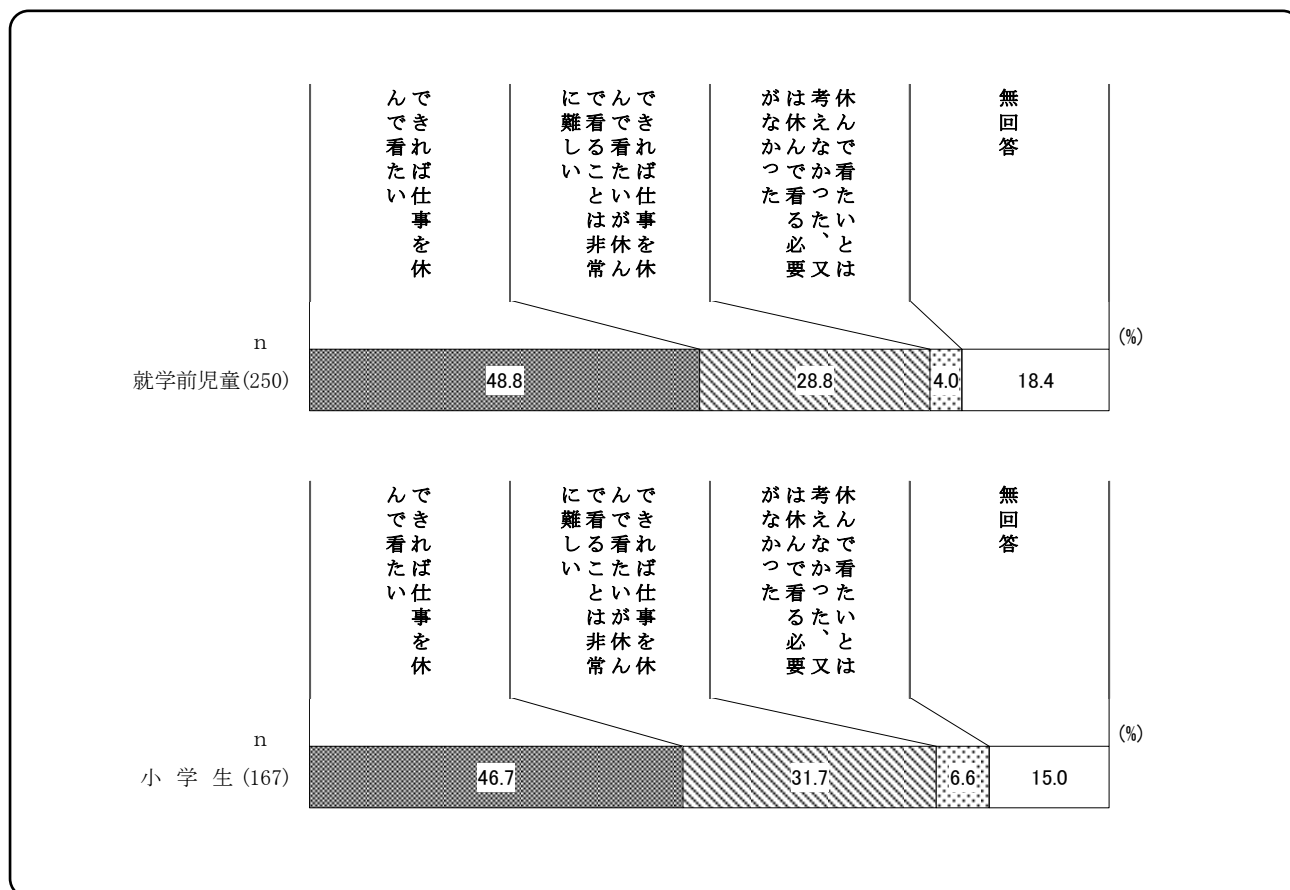
病児・病後保育事業の利用希望時の事業形態〔※複数回答〕



病児・病後保育事業を利用したいと思わなかった理由〔※複数回答〕

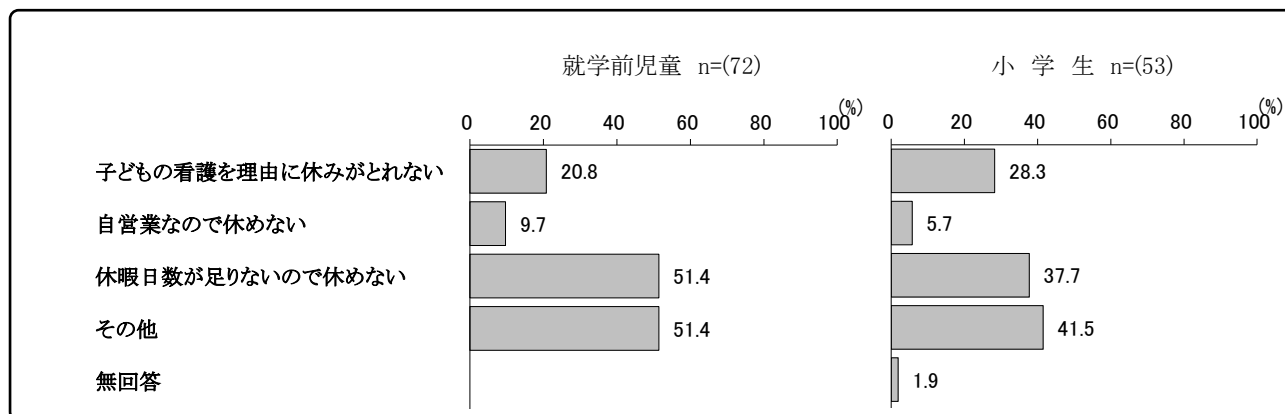


■病気やけがのために父母が見る希望



■病気やけがの看護において「出来れば仕事を休んで見たいが休んで見ることは非常に難しい」

場合の理由〔※複数回答〕



10 ファミリー・サポート・センター事業

【事業概要】

児童の預かり等の援助を受けることを希望する者（利用会員）と、当該援助を行うことを希望する者（協力会員）とその両方を希望する者（両方会員）の相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

単位：人日

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (ニーズ調査)	240	0	0	0	0	0

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	240	217	207	199	191	185

量の見込みは実績により利用意向率を算出し、各年の推計人口に乗じて算定しています。

11 利用者支援事業

【事業概要】

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
実施個所数	2	2	2	2	2	2
特定型	1	1	1	1	1	1
こども家庭センター型	1	1	1	1	1	1

12 乳児家庭全戸訪問事業

【事業概要】

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

単位：人

	現状	推 計				
	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	376	367	359	353	344	336

量の見込みは、各年の0歳児の推計人口とします。訪問率は、100%を見込んでいます。

13 妊婦健康診査事業

【事業概要】

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

単位：人回

	現状	推 計				
	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	6,321	7,707	7,539	7,413	7,224	7,056

量の見込みは、各年の0歳児の推計人口を基に算出しています。(各年の0歳児の推計人口×21回(妊婦健診の延べ回数))

14 養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

（要保護児童等の支援に資する事業）

【事業概要】

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

要保護児童対策協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取組を実施する事業です。

単位：人

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 （量の見込み）	119	119	119	119	119	119

量の見込みは、養育支援訪問事業、特定妊婦、要支援児童、要保護児童数の令和5年度実績を基に設定しています。

15 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【事業概要】

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

○生活保護世帯の保護者の申請により、実費として特定教育・保育施設等に対して支払った費用の内、教材費や行事等についてその費用の一部を助成します。

○認定区分に応じて対応が異なる給食費（副食材料費）と、それ以外の教材費・行事費等に分けて費用の一部を助成します。

単位：世帯数

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 （量の見込み）	5	20	20	20	20	20

量の見込みは、対象者数を基に設定しています。

16 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

(認定こども園特別支援教育・保育経費)

【事業概要】

多様な事業者による事業実施を促進するため、私学助成（特別支援教育経費）や障害児保育事業の対象とならない特別な支援が必要な子どもを認定こども園で受け入れる場合に、職員（幼稚園教諭免許又は保育士資格を有する者）の加配に必要な費用を補助することで、子ども一人一人の状態に応じた適切な教育・保育の機会拡大を図る事業です。

○私立の認定こども園において、特別児童扶養手当等の対象となる子どもを集団活動の中で教育・保育を行う上で、特別な支援を必要とする場合で、必要な職員等の加配を行った場合などその費用の一部を補助します。

単位：件

	現状	推 計				
	R5 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
①利用者推計総数 (量の見込み)	0	1	1	1	1	1

量の見込みは、該当施設があると仮定して設定しています。

※No.17～20の新規事業の量の見込みについては、確保の方策と併せてお示しします。